

事業群評価調査 (平成29年度実施)

基本戦略名	2 交流を支える地域を創出する	事業群主管所属	事業群①:土木部都市計画課 事業群③:企画振興部まちづくり推進室
施策名	(1) 時機を捉えた魅力あるまちなみの整備		
事業群名	① 新幹線開業に向けた駅周辺の整備	課(室)長名	事業群①:池田 正樹、事業群③:鳥谷 寿彦
事業群名	③ 県庁舎跡地整備の推進	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)						(取組項目)					
①長崎港周辺の魅力ある都市景観の形成を進めるとともに、長崎駅周辺ではJR長崎本線の高架化やデザイン指針を基に駅舎などの施設・公共空間のデザイン調整に取り組み、併せて、諫早駅や新大村駅(仮称)周辺では交通広場整備による交通結節機能の向上などに取り組みます。 ③交流人口の拡大に寄与するとともに駅周辺エリアや松が枝エリアとまちなかをつなぐ回遊の拠点となることを目指し、地元長崎市と連携しながら、長崎市のみならず長崎県全体にとって、最も良い活用策となるよう取り組みます。						i)JR長崎本線連続立体交差事業及び新幹線駅周辺等における機能的な都市空間創出のための市街地開発事業等の促進(事業群①) ii)重点的に整備する4つのエリアに掲げる施策の推進(事業群①) iii)環長崎港地域における先導性のある都市デザインの推進(事業群①) iv)県庁舎跡地活用に関する整備の推進(事業群③)					
指 標		最終目標(H32)	目標(H28)	実績(H28)	達成率	(進捗状況の分析)					
事業群	①新幹線駅周辺整備の進捗状況(面積)	44%	3.9%	3.9%	100%	①九州新幹線西九州ルートの開業を見据えた新幹線駅周辺整備が進められており、平成28年度は長崎駅周辺、諫早駅周辺では移転補償を行い、新大村駅周辺では事業認可の変更と実施設計を行っており、計画通りに進んでいる。 ③平成28年度は、2月定例県議会において、県庁舎跡地活用については、広場と交流・おもてなしの空間を中心に、整備に向けた具体的な検討を先行して進めるとの考え方を示した。					
	③県庁舎跡地活用に関する整備の推進	期間中の着手	—	—	—						
関連指標 その他											

2. 28年度取組実績 (H29新規・補正は参考記載)

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					28年度事業の成果等	中核事業		
			H28実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	28年度事業の実施状況 (29年度新規・補正は事業内容)	指標	主な目標	H28目標	H28実績	達成率				
			H29計画	一般財源	人件費(参考)					H29目標	—	—				
取組項目ⅰ	長崎駅周辺連続立体交差事業促進費	H19-	18,192	9,427	11,259	鉄道高架区間の道路利用者	デザイン検討会議を1回開催し、長崎駅舎・駅前広場等のデザイン決定に向けた課題を整理した。	活動指標	鉄道事業者との協議回数	10	16	160%	「長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画」に基づいた課題整理を行い、JR長崎本線連続立体交差事業において整備する長崎駅舎の設計協議に取り組み、事業の推進に寄与した。	○		
	都市計画課		258,402	61,251	11,304			成果指標	長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画テーマの達成項目	0	0	100%				
	長崎駅周辺連続立体交差事業(公共)	H21-	3,480,547	87	—	鉄道高架区間の道路利用者	平成28年度については高架橋の基礎工事を実施した。	活動指標	工事説明会の開催回数	3	5	166%			平成28年度については高架橋の基礎工事を実施し、事業の推進に寄与した。	○
			都市計画課	8,082,512	192					—	3	—				
	長崎駅周辺連続立体交差事業(単独)	H22-	56,094	10	4,021			活動指標	事業進捗率(%)	42	52	123%				
			都市計画課	214,674	50					4,037	65	—	—			

取組項目 i	都市計画事業県費補助金 (区画整理・再開発)	—	101,421	350	804	長崎市、諫早市、長与町	新幹線駅周辺などにおける土地区画整理事業及び市街地再開発事業の整備に対し、事業費の補助を行い、都市基盤施設の整備を促進した。	活動指標	補助申請件数	3	3	100%	新幹線駅周辺などにおける土地区画整理事業及び市街地再開発事業の計画策定や整備が進捗し、魅力的なまちなみや都市基盤の整備の促進が図られた。	
										3	—	—		
	都市計画課		266,512	112	807			成果指標	事業進捗率(%)	50	52	104%		
										56	—	—		
取組項目 ii	都市再生推進事業	H21-	1,392	1,392	14,476	県、長崎市、民間事業者	策定した整備計画に掲げる施策について関係部局と情報共有や意見交換を行うとともに、都市再生委員会を開催し、外部委員に対し進捗状況や今後のスケジュールを報告した。長崎駅周辺エリアデザイン調整会議を開催し、エリア内で整備される施設のデザイン調整を行った。	活動指標	長崎駅周辺エリアデザイン調整会議の開催回数	2	1	50%	関係部局において情報共有が図られるとともに、外部委員からの意見を聴取し可能なものは施策に反映させることとした。長崎駅周辺の施設デザイン調整を通じて、機能的な都市空間の創出が可能となり、都市再生に向けた施策の推進に寄与した。	
										1	—	—		
	まちづくり推進室		6,585	6,585	14,533			成果指標	デザイン調整が整った施設数の累計	4	5	125%		
										5	—	—		
取組項目 iii	環長崎港地域都市再生調整事業	H12-	12,006	12,006	6,434	国、県、長崎市、民間事業者	環長崎港地域アーバンデザイン専門家会議を開催し、長崎港周辺で整備される公共施設のデザイン検討を行った。	活動指標	アーバンデザイン会議等の開催回数	15	34	226%	新県庁舎、新県警本部庁舎、防災緑地等のデザイン検討を行い、魅力ある都市景観の形成に向けた質の高い施設整備に取り組んだ。	
										13	—	—		
	まちづくり推進室		13,310	13,310	7,267			成果指標	アーバンデザイン会議等の検討を経て完成した事業数	2	2	100%		
										6	—	—		
取組項目 iv	跡地活用検討経費	H21-	11,327	11,327	28,951	県、長崎市	県庁舎跡地の交通機能整備可能性調査や県警本部跡地の民間活力導入可能性調査を実施するとともに、県内外の有識者等へのヒアリングや先進事例調査、長崎市との定期的な協議を実施した。	活動指標	県議会等への整備進捗状況の報告回数(回)	5	5	100%	平成29年2月定例県議会において、県庁舎跡地活用については、広場と交流・おもてなしの空間を中心に、整備に向けた具体的な検討を先行して進めるとの考え方を示した。	
										4	—	—		
	まちづくり推進室		5,502	5,502	28,259			成果指標	基本構想に着手	数値目標なし	—	—		
										数値目標なし	—	—		

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i) JR長崎本線連続立体交差事業及び新幹線駅周辺等における機能的な都市空間創出のための市街地開発事業等の促進(事業群①)
・高架橋工事の整備を行う一方で、長崎駅は新幹線・在来線双方が乗り入れる日本唯一の頭端駅であり、海に開かれた駅としては世界にも類を見ない特長を有しているため、長崎の玄関口にふさわしいデザインの基本的な考えを示した「長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画」に基づき、鉄道事業者と費用負担や維持管理等について引き続き調整を行う必要がある。 ・平成28年度より本格的な高架橋工事に着手し、基礎工事をほぼ完了できたため、平成29年度は下部工に着手し整備の進捗を図る。
ii) 重点的に整備する4つのエリアに掲げる施策の推進(事業群①)
整備計画に掲げる施策について関係部局と情報共有や意見交換を行うとともに、都市再生委員会を開催し外部委員に対し進捗状況等を報告し委員から意見をいただくことができ、今後の都市再生に向けた施策の推進に寄与することができた。なお、整備計画の施策については、事業者が県・長崎市の関係部局や民間事業と多岐にわたっているため、施策を進めていくためにも引き続き各機関の進捗状況を把握し情報共有する必要がある。なお、平成29年度は短期整備期間の終期にあたることから、県・長崎市の関係部局の施策の進捗状況を把握する予定である。 長崎駅周辺エリアについては、長崎駅周辺エリアデザイン調整会議を開催し、当初予定していた案件に加え民間事業の案件についても調整を行い効率的により多くのデザイン調整をすることができた。今後も長崎市交流拠点施設やJR駅ビルなどの整備が予定されているため、引き続きデザイン調整を行っていく。
iii) 環長崎港地域における先導性のある都市デザインの推進(事業群①)
長崎港周辺では、水辺の森公園や松が枝国際観光船埠頭といった港の景観に調和した施設が完成しており、現在建設中の新県庁舎や新県警本部庁舎についても計画・設計段階から施工段階に至るまで詳細なデザイン検討を行い、質の高い施設の整備に取り組んでいる。今後も魅力ある都市景観の形成に向け、長崎港周辺で整備される施設についてデザイン検討を行っていく。
iv) 県庁舎跡地活用に関する整備の推進(事業群③)
平成28年度は、具体化に向けた取り組みとして、交通機能等についての検討状況を県議会に報告したほか、県内外の有識者等へのヒアリングや先進事例調査、長崎市との定期的な協議を実施した。 広場と交流・おもてなしの空間を中心に、整備に向けた検討を先行して進めるとともに、バスベイや駐車場などの交通機能についても、長崎市や交通事業者などの関係者と連携を図りながら検討を進め、基本構想の着手に向けて、取り組んでいきたいと考えている。 ホールについては、長崎市による新たな文化施設やMICE機能を中核とした複合施設の検討状況並びに市議会の審議の動向を慎重に見極めた上で、今後の方向性について判断する必要がある。

4. 29年度見直し内容及び30年度実施に向けた方向性

取組項目	事務事業名	29年度事業の実施にあたり見直した内容 (H29の新たな取組は「H29新規」等と記載、見直しがない場合は「－」と記載)	30年度事業の実施に向けた方向性		
			事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i	長崎駅周辺連続立体交差事業促進費	—	—	JR長崎本線連続立体交差事業は、国際観光文化都市長崎の玄関口としてふさわしいまちづくりのために、九州新幹線西九州ルートや長崎市の事業である長崎駅周辺土地区画整理事業と調整を図りながら一体となって推進する必要がある、「長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画」に基づいて駅周辺のデザインを検討していく必要がある。	現状維持
	長崎駅周辺連続立体交差事業	—	—	JR長崎本線連続立体交差事業は、国際観光文化都市長崎の玄関口としてふさわしいまちづくりのために、九州新幹線西九州ルートや長崎市の事業である長崎駅周辺土地区画整理事業と調整を図りながら一体となって推進する必要がある。	現状維持
	都市計画事業県費補助金 (区画整理・再開発)	—	—	新幹線駅周辺などにおける土地区画整理事業及び市街地再開発事業の整備に対し、事業費の補助を行い、都市基盤施設の整備事業と調整を図りながら一体となって推進する必要がある。	現状維持
取組項目 ii	都市再生推進事業	平成29年度においては、4エリア全ての整備計画について、関係部局の施策の進捗状況を把握し、情報共有することとする。	⑤、⑥	平成29年度が短期整備期間の終期になっていることから、各施策の実績を把握するとともに、必要な対策を講じるよう検討する。 また、長崎駅周辺エリアデザイン調整会議については、機能を果たしており今後も継続して取り組んでいく。	改善
取組項目 iii	環長崎港地域都市再生調整事業	—	—	長崎港周辺では、水辺の森公園や松が枝国際観光船埠頭といった港の景観に調和した質の高い施設が数多く完成している。今後も継続して長崎港周辺で整備される施設についてデザイン検討を行い、魅力ある都市景観の形成に寄与していく。	現状維持
取組項目 iv	跡地活用検討経費	—	—	これまでの経過を踏まえて、具体的な機能の検討を進めていく段階に入ったところであり、今後策定する基本構想につなげていく。	現状維持